

本校の教育目標

幼・小・中・高の各部の独自性と一貫性を柱とし、幼児児童生徒一人一人の特性と能力に応じた教育をすすめ、家庭や社会の成員として、力強く生き抜く人間を育成する。

校訓 **たくましく ゆたかに すこやかに**

本校がめざす「子ども像」

部	各部でめざす「子ども像」
高等部	自分らしく生きる子
中学部	自分の力を伸ばす子
小学部	いきいきと学ぶ子
幼稚部	なかよく遊ぶ子



本年度のスローガン
「一人一人が輝く学校」

重点目標② 安全で安心な学校づくり

～一人一人を大切にする学校～

- ・個性を尊重した高い人権意識の下、教職員の連携と専門性を生かした教育環境を提供する。
- 教職員の人権意識を高める研修の実施
- 環境整備（防犯、防災、衛生管理、整理整頓）
- 開かれた学校の推進（授業参観の実施、関係機関・家庭との連携、情報発信の充実）
- 学校危機管理マニュアルの随時見直し（場面毎の初期対応フローの整備）
- 実際の災害や緊急事態を想定した訓練の実施

重点目標① 指導・支援の充実

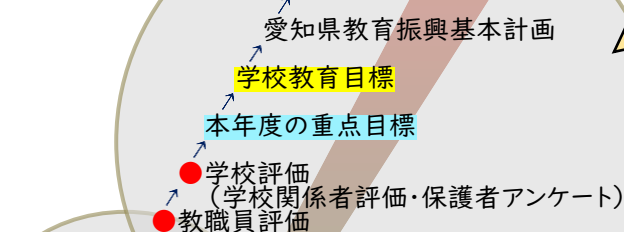
～楽しい（できた、分った）学校～

- ・一人1台タブレットを含む ICT 機器を活用した「主体的・対話的で深い学び、個別最適な学び」を推進し、楽しく充実した学校（寄宿舎）生活を送ることができるようにする。
- 的確な実態把握と適切な課題設定
- 学習環境の整備（障害特性等）
- 各部のつながりを意識した教育課程の実施
- 一人1台タブレットの積極的利用
- 医療的ケアの通学・校外学習のモデル事業の促進
- 特別支援教育のセンター的機能の強化（発達障害理解及び医療的ケアの体制・指導等理解の推進、教育相談技術の向上等）
- 卒業後に適切な福祉サービスが受けられるようにするための情報提供
- キャリア教育の推進
- 交流及び共同学習の推進（直接・間接・遠隔）
- 学校内外資源の活用（教職員の特性、ICT、外部講師）
- 研修の奨励（多様な研修の方法、履歴の記録）

重点目標③ 教職員の在校時間等の縮減

～教職員が元気で質の高い学校～

- ・全ての教職員が在校時間等を月 45 時間、年間 360 時間以内とし、ワークライフバランスを保ちながら働きがいのある職場づくりを目指す。
- 教材等の共有化と有効活用
- 業務の精選（子どもを中心とした考えのもと、必要・不要の見極めと大胆な業務削減）
- 施錠時刻の徹底（19:00、毎週金曜定時退校日 17:30）
- 職種や分掌等を越えた横断的な連携による業務改善（一宮書式集・一特職員必携、保護者目線に立った依頼文書の提供など）
- ICT の利活用による業務の効率化（Teams の有効活用、校務支援システム（SE）の一部運用）
- 長期休業の有効活用（業務シェアリング）
- 校務補助員への積極的な業務切出し



R7 年度 一宮特別支援学校の現状 (R7.4.1 現在)

※（ ）内は訪問人数、外数

在籍数	幼4	幼5	小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3	高1	高2	高3	訪問	合計
計	0	4	9	9(1)	11	15	14	12(1)	7(2)	10(1)	8(1)	14	12	11	6	142
学級数	2				25					10			13		3	53
教職員数																108

※別に養護教諭2、実習助手2、寄宿舎指導員8、栄養教諭1、看護師（常勤2、非勤10）等